

# 「がんになっても家に帰れました」

## ～自宅でのがん治療～

Aさん  
例

**1** がん検診を受けたAさん。がんになっていることがわかりました。



**2** Aさんは手術を終え、入院して抗がん剤治療を受けることになりました。



**3** 主人の想いを聞いた奥さんは、病院の相談室を訪ねました。



**4** Aさんは、病院の外来で抗がん剤治療を受けつつ、お孫さんが暮らす自宅で療養することができました。半年後、Aさんは家族に見守られながら安らかに最期を迎えました。



### 自宅でも痛みは取ってもらえるの？

痛みの治療は、家でも十分に可能です。痛みをやわらげる貼り薬や、急な痛みをすぐに取りのぞく飲み薬などがあり、痛みの治療は格段に進歩しています。

また、身近な薬剤師に訪問してもらって、痛みにあった薬に調整してもらうこともできます。

(参考) 福井県薬剤師会ホームページ  
自宅に訪問して、薬のアドバイスをしてくれる薬局を調べることができます。

### 薬剤師のサポート



自宅に訪問して、薬の説明や症状に合わせた調整を行います。

連携

## Aさんの在宅でのサポート体制

### 自宅での治療



医師

訪問看護師

症状が安定しているときは、医師が週に1回、訪問看護師が週に3回、診察に来てくれました。

痛みが強いなど不安定なときには、医師や訪問看護師が毎日訪問してくれました。

### 日常の介護ケア



ヘルパー

ケアマネジャー

訪問看護師

ヘルパーや訪問看護師に日常のお世話を手伝ってもらうこともできました。

サービスの内容や回数については、ケアマネジャーがしっかり調整してくれました。

連携

### 病院のバックアップ

急変した時の入院受け入れや、外来での抗がん剤治療を行います。



### 夜間に急変したら？

病院から退院する時点で、病状が急変した時の緊急連絡先があらかじめ決められますので、その連絡先にあわせて相談するようにしましょう。

必要に応じて在宅主治医や訪問看護師が訪問したり、連携している病院で受け入れを行います。